

関係各位

H25.7.17

雑誌広告デジタル送稿推進協議会  
JMPA カラー管理委員会

—2013 年末の色見本完全廃止にむけて—

## 『JMPA カラーVer3.00 の運用状況と色調の安定性について』

平素より、雑誌広告デジタル送稿推進協議会(日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会)で構成：以下デジ協)の諸活動にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、デジ協では今年4月に宣言した、2014年4月からの「完全オンライン化」に伴い、『2013年いっぱいでの色見本添付の廃止』を発表しました。オンライン送稿の運用には「色見本」は不要なため、『完全オンライン化』への第一段階として年内に「色見本添付」を廃止致します。

「色見本添付の廃止」には精緻な色調管理が必要となりますが、その礎になるのが JMPA カラーです。デジ協では、2011年11月の広告掲載誌より、JMPA カラーの色基準を改定し Ver3.00 にバージョンアップして運用しております。Ver3.00 の具体的な変更点は

- ①ターゲットとしている標準印刷物のベースをポジ刷版からCTP刷版へ変更し、オフセット輪転機の最新の条件で再現しているためDDCPと印刷のマッチング精度が向上。
  - ②マゼンタからレッドの領域で、より高彩度側に色域が広がった。
  - ③ベンダーキットに官能評価用自然画像として、従来確認出来なかった色領域(特にセピア系、4色モノクロ系、濃紺系、茶系)を追加し、より合わせこみを容易にし、視覚的にマッチング精度の確認が出来るようにした。
- の3点です。

JMPA カラー管理委員会では、定期的に「色調の検証会」を行い精度アップに努めております。JMPA カラーVer3.00 のリリースから1年半が経ちますが、マッチングの精度を上げたことにより、デジ協や JMPA カラー管理委員会へも、「色見本と印刷会社 DDCP 間」「印刷会社同士の DDCP 間」の色調のズレや不良の報告はほとんどありません。それにより印刷工程での色調マッチングの精度も上がり、より安定した色調の掲載誌がお届け出来るようになりました。また JMPA カラーVer3.00 準拠のインクジェットプルーフ出力と、ベンダーキット同梱のリファレンスサンプル画像の色調が合わせづらかった件に関しても、測色数値より標準光源下での目視評価に重点を置いてプロファイル調整を実施して欲しい旨、インクジェットソフト会社に要請し、改善を図っております。

現在、印刷会社ではお送りいただいた原稿データから DDCP を出力し、これを色調ターゲットとして印刷工程で使用しております。先述のように各印刷会社内、および印刷会社相互でも定期的に色調照合を行なっておりますので、ほぼすべての DDCP はベンダーキットと同等のものが出力されていることとなります。そのため色見本添付の必要はありません。

年内でのスムーズな「色見本添付廃止」の実現に向けて、上記の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。